

# **平成 28 年度福井県計画に関する 事後評価**

**令和 5 年 1 月  
福井県**

### 3. 事業の実施状況

平成28年度福井県計画に規定した事業について、令和3年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.1 (介護分)】 介護実習・普及センター運営事業 (地域リーダー養成研修)	【総事業費】 274 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県 (福井県社会福祉協議会へ委託)	
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者の介護に携わる地域住民が正しい介護知識・介護技術を身に着け、県全体の介護の質を向上させる。 アウトカム指標：一般県民各層（中高齢者、女性介護者、地域リーダー等）が実践的な研修の実施を通して高齢者を支援する体制の整備。	
事業の内容（当初計画）	一般県民各層（中高齢者、女性介護者、地域リーダー等）に対して、基本的な介護の知識・技術について習得させる。	
アウトプット指標（当初の目標値）	講座実施回数：10回	
アウトプット指標（達成値）	研修実施回数：10回	
事業の有効性・効率性	<p>観察できた 研修実施回数 10回</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b> 介護の地域リーダーとなる一般住民に対し、在宅介護に必要な介護の知識と技術と相談援助に関する講座を実施し、高齢者を支援する体制の整備を図ることが出来た</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 外部研修受講の機会確保が難しい高齢者の介護に携わる地域住民に対して、一括して研修することができた。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No.2 (介護分)】 認知症ケア医療人材育成事業	【総事業費】 5,974 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県 (委託先：福井県医師会、国立長寿医療研究センター、 福井県歯科医師会、福井県薬剤師会、福井県看護協会)	
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>認知症高齢者の数は、2025（令和7）年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達すると見込まれており、早期診断・早期対応を軸に、認知症の容態の変化に応じた適時・適切な医療等が提供される体制整備を充実させる必要がある。</p> <p>アウトカム指標：認知症に関する知識を習得し、適切なサービスを提供できるかかりつけ医や歯科医、薬剤師、看護師等、医療サービスを担う人材が増加する。</p>	
事業の内容（当初計画）	<p>①かかりつけ医に対し、適切な認知症診療の知識・技術習得のための研修を実施</p> <p>②かかりつけ医への助言を行い、地域の医療介護連携の推進役となる認知症サポート医を養成するための研修を実施</p> <p>③サポート医等の地域医療機関の資質向上を図るとともに、地域における連携強化を図るための専門的、実践的な研修を実施</p> <p>④医療従事者に対して認知症に関する基礎知識や対応方法を習得させるための研修を実施</p> <p>⑤地域の医療機関、地域包括支援センター等との日常的な連携機能を有する歯科医師に対し、認知症の早期発見および認知症対応力の向上のための研修を実施</p> <p>⑥地域の医療機関、地域包括支援センター等との日常的な連携機能を有する薬剤師に対し、認知症の早期発見および認知症対応力の向上のための研修を実施</p> <p>⑦急性期病院等に勤務する看護師（リーダー的な役割）に対し、行動・心理症状（BPSD）や身体合併症等への適切対応など、医療における認知症対応力向上を図るための研修を実施</p>	

<p>アウトプット指標（当初の目標値）</p>	<p>①受講者数 120 人（60 人×2 会場）/年          ②受講者数 5 人/年          ③資質向上の研修 20 人（10 人×2 会場）/年          ④受講者 300 人（100 人×3 会場）/年          ⑤受講者数 50 人（50 人×1 回）/年          ⑥受講者数 50 人（50 人×1 回）/年          ⑦看護職員認知症対応力向上研修受講者数 100 人（50 人×2 回）/年</p>
<p>アウトプット指標（達成値）</p>	<p>① 受講者数 42 人          ② 受講者数 5 人          ③ 資質向上の研修 41 人          ④ 受講者 129 人          ⑤ 受講者数 6 人          ⑥ 受講者数 19 人          ⑦ 看護職員認知症対応力向上研修受講者数 112 人</p>
<p>事業の有効性・効率性</p>	<p>観察できた          354 人の医療人材が、認知症に関する知識を習得した。          コロナ禍の影響により研修回数が減ったため、目標値に届いていない研修があった。</p> <p><b>（1）事業の有効性</b>          認知症に関する知識を習得し、適切なサービスを提供できる医療人材の確保を図ることができた。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b>          研修を実施できた職種は、人材育成を効率的に行うことができた。</p>
<p>その他</p>	

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 3 (介護分)】 認知症ケア介護人材育成事業	【総事業費】 883 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県 (福) 福井県社会福祉協議会へ委託)	
事業の期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>認知症高齢者の数は、2025 (令和 7) 年には約 700 万人、65 歳以上の高齢者の約 5 人に 1 人に達すると見込まれており、認知症介護に携わる者が必要な知識・技術を身につけ、容態の変化に応じた適時・適切な介護等が提供される体制整備を充実させる必要がある。</p> <p>一方で、介護現場における不適切な BPSD の対応から、症状が悪化して医療機関に送られてくる患者が増加しているが、3 交代勤務の施設職員には、集合研修への参加が難しい。</p> <p>アウトカム指標： 認知症ケアに関する知識を習得し、適切なサービスを提供できる介護人材が増加する。</p>	
事業の内容 (当初計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険施設・事業所等に従事する介護職員等に対し、認知症介護に関する基礎的な知識や技術を習得させるための研修を実施地</li> <li>・域密着型サービス事業所の管理者等に対して、管理運営等のために必要な知識や技術を習得させるための研修を実施</li> </ul>	
アウトプット指標 (当初の目標値)	<p>受講者数 100 人</p> <p>受講者数：開設者研修 20 人 (10 人×2 回) /年 管理者研修 60 人 (30 人×2 回) /年 計画作成担当者研修 20 人 (10 人×2 回) /年</p>	
アウトプット指標 (達成値)	<p>受講者数：67 人</p> <p>受講者数：開設者研修 4 人 管理者研修 43 人 計画作成担当者研修 20 人</p>	
事業の有効性・効率性	<p>観察できた。</p> <p>67 人が認知症に関する知識を習得した。</p>	

	<p><b>(1) 事業の有効性</b>          認知症に関する知識を習得し、適切なサービスを提供できる介護人材の確保を図ることができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b>          対象者ごとに適したカリキュラムにより、人材育成を効率的に行うことができた。</p>
その他	